

記 録

文書番号	SCJ第25期-050919-25430100-032
委員会等名	日本学術会議 食料科学委員会 農学委員会 健康・生活科学委員会合同 IUNS 分科会
標題	第4回 IUNS International Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutritional Sciences の記録
作成日	令和5年(2023年)9月19日

※ 本資料は、日本学術会議会則第二条に定める意思の表出ではない。掲載されたデータ等には、確認を要するものが含まれる可能性がある。

IUNS (International Union of Nutritional Sciences : 国際栄養科学連合)は、1948年6月に設立され、現在、日本を含む84カ国のAdhering Bodiesと14のAffiliated Bodiesが加盟している組織である。日本は、1965年に日本栄養・食糧学会が我が国を代表して加盟したが、1966年にIUNSが国際科学連合(ICSU)に加盟し、ICSUに加盟している日本学術会議が我が国を代表するIUNS加盟団体になり、今日に至っている。

IUNS分科会の活動の一つとして、2010年から約3～4年に1度、日本学術会議 IUNS分科会、公益社団法人 日本栄養・食糧学会、特定非営利活動法人 日本栄養改善学会、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所(国立健康・栄養研究所)の共同主催として、IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ(IUNS Workshop: IUNS International Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutritional Sciences)を開催してきた。第1回(2010年9月7日～9日)、第2回(2014年3月11日～13日)、第3回(2017年3月7日～9日)は、参加者に日本に来ていただき、国立健康・栄養研究所を会場として開催したが、第4回(2021年12月11日～12日)はコロナ禍であったため、オンラインで開催した。本記録は、この第4回のIUNS Workshopの概要を取りまとめ、記録として公表するものである。

IUNS 分科会 委員

委員長	熊谷 日登美 (第二部会員)	日本大学生物資源科学部教授
副委員長	稲垣 暢也 (連携会員)	京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学教授
幹事	竹中 麻子 (連携会員)	明治大学農学部教授
幹事	家光 素行 (連携会員)	立命館大学スポーツ健康科学部教授
	宮地 元彦 (第二部会員)	早稲田大学スポーツ科学学術院スポーツ科学部教授
	児玉 浩子 (連携会員)	帝京平成大学特任教授
	清水 誠 (連携会員)	東京大学名誉教授、東京農業大学客員教授
	鈴木 恵美子 (連携会員)	お茶の水女子大学名誉教授
	永田 知里 (連携会員)	岐阜大学大学院医学系研究科教授
	那須 民江 (連携会員)	中部大学生命健康科学部特任教授、名古屋大学名誉教授
	加藤 久典 (連携会員(特任))	女子栄養大栄養学部教授

目次

IUNS Workshop 実行委員会	1
IUNS Workshop テーマ・目的	4
ビデオ講義	5
プログラム	6
参加者	6
Group work	7
まとめ	8

IUNS Workshop 実行委員会

IUNS Workshop 実行委員

※所属は、IUNS Workshop開催時のものである。

日本学術会議 IUNS分科会、公益社団法人 日本栄養・食糧学会、特定非営利活動法人 日本栄養改善学会、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所（国立健康・栄養研究所）から数名ずつ出て、実行委員会を組織した。

日本学術会議 IUNS分科会

家光 素行（立命館大学）
稲垣 暢也（京都大学）
熊谷 日登美（日本大学）
清水 誠（東京大学・東京農業大学）
竹中 麻子（明治大学）

日本栄養・食糧学会

乙木 百合香（東北大学）x
加藤 久典（東京大学）
黒谷 佳代（昭和女子大学）
豊島 由香（宇都宮大学）
仲川 清隆（東北大学）
山口 勇将（日本大学）

日本栄養改善学会

関山 牧子（国立環境研究所）
林 芙美（女子栄養大学）
三好 美紀（青森県立保健大学）
村山 伸子（新潟県立大学）

国立健康・栄養研究所

西 信雄（国立健康・栄養研究所）
山口 美輪（国立健康・栄養研究所）

IUNS Workshop 実行委員会開催日時・議題

第1回：2021年4月26日（月）15:00～17:00

- (1) IUNS Workshop 実行委員会メンバー紹介
- (2) 過去に実施した IUNS Workshop の概要
- (3) 今回実施する IUNS Workshop の計画
 - ①開催時期
 - ②開催日数
 - ③開催方法
 - ④参加者の募集
 - ⑤シンポジウム開催
- (4) その他

第2回：2021年5月31日（月）15:30～17:00

- (1) 委員の追加
- (2) IUNS Workshop のテーマ
- (3) Group work の人数と内容・Lecture の配信方法
- (4) その他

第3回：2021年6月29日（火）17:30～19:00

- (1) 前々回および前回の議事録の確認
- (2) IUNS Workshop 開催までのスケジュールと当日のプログラム
- (3) Lecture の担当者
- (4) Group work のファシリテーター
- (5) 企業参加
- (6) 業務委託
- (7) その他

第4回：2021年7月27日（火）18:00～20:00

- (1) 前回の議事録の確認
- (2) 委員の追加
- (3) Lecture のタイトル・作成期限・配信開始時期
- (4) Group work のタイトル・概要
- (5) 企業参加申込書・趣意書
- (6) 募集要項・募集締切日
- (7) 案内配信先
- (8) 審査員
- (9) その他

第5回：2021年8月31日（火）17:30～18:45

- (1) 前回の議事録の確認
- (2) 案内の配信先

- (3) 企業の参加申込状況
- (4) 企業オブザーバーの参加人数
- (5) Lecture の視聴可能者
- (6) 送付資料の内容
- (7) 書面審査
- (8) 参加者の分け方
- (9) 参加者への伝達事項
- (10) Country report の作成内容に関する指示
- (11) その他

第6回：2021年10月4日（月）17：30～19：30

- (1) 前回の議事録の確認
- (2) 東京栄養サミットのサイドイベント
- (3) 企業の参加申込状況
- (4) 決算書・会計監査
- (5) 参加者の申込状況
- (6) 審査結果
- (7) 採否の連絡
- (8) Lecture のアップロード
- (9) 自己紹介スライドのフォーマット
- (10) プログラム
- (11) その他

第7回：2021年11月8日（月）17：30～19：00

- (1) 前回の議事録の確認
- (2) 資料集の構成
- (3) 資料集の送付先
- (4) オブザーバー参加者の希望グループ
- (5) Group work の指示内容
- (6) 接続テスト
- (7) Presentation の参加案内送付先
- (8) 担当者以外の参加の可否
- (9) 写真撮影
- (10) 栄養サミットのサイドイベント申請
- (11) 最終打合せ・リハーサル
- (11) 参加者の懇親
- (12) その他

第8回：2021年12月28日（火）17：00～18：00

- (1) 前回の議事録の確認
- (2) 不採択者への Lecture 動画配信
- (3) 修了証書の送付
- (4) 資料集の送付
- (5) アルバムの作成
- (6) 次回への申し送り事項
- (7) その他

IUNS Workshop テーマ・目的

テーマ： Food system and nutrition intervention for sustainable healthy diets
(持続可能で健康的な食生活のためのフードシステムと栄養介入)

目的：

The main objective of the IUNS workshop is to develop capacity and leadership of young researchers in Asian regions, build network, and provide them with latest knowledge in the field of food and nutritional sciences.

IUNSワークショップの主な目的は、アジア地域の若手研究者の能力とリーダーシップを開発し、ネットワークを構築し、食品および栄養科学の分野での最新の知識を提供することである。

ビデオ講義

- 1) Introduction of Sustainable Healthy Diets
(持続可能で健康的な食事の紹介)
講師: Nobuo Nishi (西 信雄)
- 2) Introduction of food system and the Food Systems Summit
(フードシステムとフードシステムサミットの紹介)
講師: Miwa Yamaguchi (山口 美輪)
- 3) Policies and strategies for creating healthy food environments in Japan
(日本における健康的な食環境を創造するための政策と戦略)
講師: Fumi Hayashi (林 芙美)
- 4) Toward implementation of precision nutrition
(精密栄養学の実践に向けて)
講師: Hisanori Kato (加藤 久典)
- 5) Outline and current situation of nutrient profiling systems
(栄養素プロファイリングシステムの概要と現状)
講師: Hisanori Kato (加藤 久典)
- 6) School lunch program in Japan and in Asian countries for reducing socioeconomic disparities and sustainable food system
(社会経済格差の是正と持続可能な食料システムを目的とした日本とアジア諸国の学校給食プログラム)
講師: Nobuko Murayama, Makiko Sekiyama (村山 伸子・関山 牧子)
- 7) Japanese diet based on “The Japanese Food Guide Spinning Top” focusing on socioeconomic status
(社会経済的状況に焦点をあてた「食事バランスガイド」に基づく日本の食生活)
講師: Kayo Kurotani (黒谷 佳代)
- 8) Making a commitment by Federation of Japanese Nutrition Societies based on the advantages and disadvantages of Japanese food
(日本食の長所と短所を踏まえた日本栄養学学術連合の取り組み)
講師: Kiyotaka Nakagawa, Yuki Manabe, Hidemi Takimoto
(仲川 清隆・真鍋 祐樹・瀧本 秀美)
- 9) How to make a commitment for the Tokyo Nutrition for Growth Summit 2021
(Tokyo Nutrition for Growth Summit 2021 に向けてのコミットメントの作成)
講師: Nobuo Nishi (西 信雄)

プログラム

12月11日（土）

- 13：00～13：05 開会挨拶 熊谷 日登美
- 13：05～13：15 実行委員の自己紹介
- 13：15～13：30 22nd IUNS-ICN の紹介 加藤 久典
- 13：30～13：40 オリエンテーション 西 信雄
- 13：40～17：00 Group work 各 Breakout room にて実施
- 13：40～14：10 自己紹介（一人5分）
- 14：10～15：10 Country report（一人10分）
- 15：20～17：00 Discussion

12月12日（日）

- 13：00～13：05 オリエンテーション 西 信雄
- 13：05～14：50 Group work 各 Breakout room にて実施
- 15：00～17：00 各 Group の発表（発表15分＋質疑応答5分）×6グループ
- 17：00～17：05 閉会の挨拶 稲垣 暢也

参加者

- 参加申込者： 42名（17カ国）
- 参加者： 36名（14カ国） 各グループ6名ずつ
- オブザーバー： 12名（賛助企業） 各グループ2名ずつ

Group work

グループA

テーマ: Environmental-friendly and sustainable approaches for animal-protein intake
(動物性たんぱく質摂取のための環境に優しく持続可能なアプローチ)

ファシリテーター: 豊島 由香・山口 勇将

グループB

テーマ: The nutritional and functional characteristics of Japanese cuisine from the overseas viewpoint; proposing healthier, more sustainable and feasible diet
(海外から見た日本料理の栄養と機能性の特徴: より健康的で持続可能で実行可能な食生活を提案する)

ファシリテーター: 黒谷 佳代・乙木 百合香

グループC

テーマ: Nutrition intervention focusing on sustainable and healthy diet based on national dietary guidelines from the standpoint of government and a research institute

(政府と研究機関の立場から、国の食事ガイドラインに基づいた持続可能で健康的な食生活を中心とした栄養介入)

ファシリテーター: 林 芙美・村山 伸子

グループD

テーマ: Nutrition intervention focusing on sustainable and healthy diet based on national dietary guidelines from the standpoint of a private company

(民間企業の立場から、国の食事ガイドラインに基づいた持続可能で健康的な食生活に焦点を当てた栄養介入)

ファシリテーター: 関山 牧子・三好 美紀

グループE

テーマ: International policy recommendations for conversion of protein sources from animal to plant (タンパク質源を動物から植物に変換するための国際政策勧告)

ファシリテーター: 西 信雄

グループF

テーマ: International policy recommendations for strategies of salt reduction
(減塩戦略に関する国際政策提言)

ファシリテーター: 山口 美輪

まとめ

第1回（2010年9月7日～9日）、第2回（2014年3月11日～13日）、第3回（2017年3月7日～9日）は、参加者に日本に来ていただき、国立健康・栄養研究所を会場として、3日間にわたって開催したが、第4回（2021年12月11日～12日）はコロナ禍であったため、オンラインで開催した。日本学術会議 IUNS分科会、公益社団法人 日本栄養・食糧学会、特定非営利活動法人 日本栄養改善学会、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所（国立健康・栄養研究所）から数名ずつが出て、実行委員会を編成し、毎月、委員会を開催して、実施方法等について議論した。その結果、今回は、9つのビデオ講義動画を作成し、参加者は、それらを視聴した上で、ワークショップに参加していただくことにした。ワークショップの一日目は、実行委員の自己紹介等の後、参加者は、6つのグループに分かれ、グループ内で、まず、自己紹介と各国の状況をカントリーレポートとして発表した。その後、ファシリテーターの進行の下、各グループのテーマに基づき、議論を行った。二日目も、議論の続きを行った後、グループで議論した内容を取りまとめ、全員がメインルームに戻り、各グループの代表が、議論の内容を報告した。オンライン開催ではあったが、いずれのグループでも、活発な意見交換が行われ、これまでと同様、異国の若手研究者同志が交流できる貴重な機会を提供できた。ワークショップ終了後、ビデオ講義動画が日本栄養・食糧学会および日本栄養改善学会のホームページから学会員向けに公開され、食と栄養科学の最新の知見を幅広く共有することもできた。